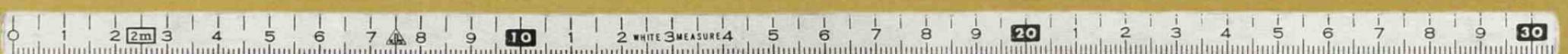


Handwritten text at the top of the page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are small and difficult to decipher, but appear to be a list or notes.

Main body of handwritten text in cursive script, arranged in vertical columns. The text is dense and covers most of the page's surface.



Handwritten text at the top of the right page, including a date and a name.

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns.

Handwritten text at the top of the left page, including a date and a name.

Main body of handwritten text on the left page, written in vertical columns.



此の如く... 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

聯國家之為二日夜不堪憂患

而幕吏苟安莫ヲ偷方今汝

閑東工下ニテ普ク

聯力固ヨリ有ルノ志ヲ宇内ニ

布シメント欲ス願クハ汝

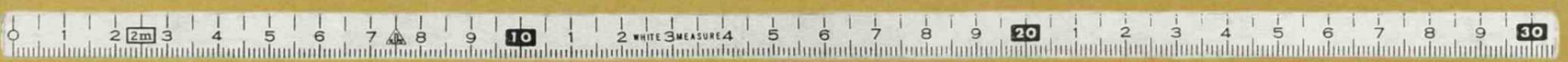
朕腹心ト為テ莫有急且營中

ノ廟論ノ節万一幕吏ノ曲

直二依_テ島津三郎_ト開論
及_ニ支母_ノ難計_然トキ_ハ則
汝大道_ヲ以諭_{是非}天下之
大_支莫令_誤今日之_支
朕一_ツ汝_ニ委_又汝勉_テ
袒神之宸怒_ヲ慰_{セヨ}

葦園謹案營中廟論之四字不審其餘
文勢亦疑ハシ

朕惟方今時勢_旁戎恣猖_極幕吏失措
還天下騷然_萬民欲墜塗炭
朕深憂之_仰耻
祖宗俯愧蒼生_而幕吏_羞曰_近未_因民
不_協和_是以_不能_禦奢_懲之師_降據
皇妹於大樹_則公武_一和_而天下_戮力
以掃攘夷_我故許_{其所}請_惡而幕吏_連
署曰_{十年}內_必攘_夷我
朕甚嘉之_抽誠_祈



神以待其成功昨臘和宮入關東也使
千種少將岩倉少將論天下大赦之事
且告曰國政仍曰大赦委於閣東至如
外夷之事則我國一大重事也係其國
休者咸問
朕而後定議或使二之外藩臣預聞夷
我之所置幕吏對曰
宸高之事甚重大難遽奉行請暫猶預
既而頃日列藩有獻謀議者如薩長二
藩殊親未卷事且山陽南海西國之忠

士既降起密奏曰幕吏奸徒日多正議
委地而茂
王家睦夷我物貨濫出國用定耗萬民
困弊之極殆至受夷我之管轄不易
可知也矣冀舉旌旗奉
鸞輿於函嶺誅京師姦徒何其又曰不
顧幕府下攘夷之令於五畿七道之諸
藩如其眾議畢雖出于忠誠憂國之
至情事甚激烈使喻薩長之輩鏗鏗
其他名幕老吏久世大和守住復歷

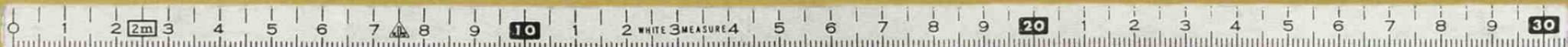
未告唯諾而先行昨臘所喻之大教夫夫
猶弱何失之有但幕吏因循偷安撫
失術如是則國家傾覆可立而待也
朕日憂懼焉所謂一日偷安忘百年患
聖賢之遺訓可鑑矣當內修文德外
備武衛斷然建攘夷之功於是斟酌
衆議執守中道欲使德川興祖先之功
業張天下之綱紀因策三事其一曰欲令
大樹率大小各上浴議治國家攘夷我
上慰

祖神之宸怒下從義臣之歸嚮為萬民
和育之基比天下泰山之安其二曰依豐
太閤之故典使沿海之大藩五國於大老
為咨決國政防禦夷戎之處置則環海
之武備堅固確然必有掃攘夷戎功其三
曰令橋刑部卿授大樹越前中將任
大老職補佐幕府內外之政當不受
左衽之辱此萬人之望恐不違
朕意決于此三事是故下使於關東
蓋欲使幕府邊三事中之以行也

是以周詢群臣、無忘悼谷啓
沃心丹空羨、謹言

淡心丹空羨
謹言

此後亦有... 沃心丹空羨... 謹言



多利之方又... 向... 大... 籍...

二月

...

一...

...

...

...

...

一...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

多利方及... 皇... 大... 藤...

二月

三月

佐州 村中 十 万 云

御... 御... 御... 御... 御...

Handwritten text on a rectangular slip of paper, possibly a label or a note, with some characters appearing to be '御... 御... 御...'

二月

三月

田代 野...

村岡...

初...

長...

村...

... 皇... 皇... 皇...

... 皇... 皇... 皇...

故にこれ等

の

御太刀目録

仁徳天皇

大御所御座り此御太刀目録なる御座り

一乃御座り此御太刀目録なる御座り

御座り

御座り此御太刀目録なる御座り

御座り此御太刀目録なる御座り

御座り

御座り

仁徳天皇

御座り

御座り

御座り

御座り

御座り

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

此の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、
其の事、

於京師
長井権樂

近年、
所因、
皇國、
由テ、
は、
今日、
海、
の、
天、
自、
一、



竹田作と口動... 送舞... 中... 高... 内... 言... 不... 王... 膏... 軍... 同... 江...

深... 皇... 海... 役... 海... 依... 放... 進... 改... 野... 諸... 内...



此の二作事... 書と受りて終に... 齒寒く戒と... 京師... 勢... 京師... 血氣... 愉快... 子細...

此の二作事... 書と受りて終に... 齒寒く戒と... 京師... 勢... 京師... 血氣... 愉快... 子細...

